

# 28 「問いの教科書」をすてる

Free  
theme

実施者: 塩瀬 隆之(京都大学 総合博物館) 他1名



「世の中にはない新しいサービスを考えろ」「自由に発想して好きなことをなんでも話し合ってください」どんなに声を荒げて、猫なで声を出しても、参加者の思考は深まらない。

退屈な会議を創造的に変革したい会社のマネージャー、受け身の授業を活気あふれる生徒主体の学び場に変革したい学校の先生は、いかにして参加者を刺激する「深い問い」を手にいれればよいのか。



本テーマでは、いかにして問いを試し、問いの質を評価し、そして新たな問いを作り直すのか、【問いの因数分解】や【ミニワールドカフェ】など、最新の「問い」に関するデザイン理論とデザイン手法の習得を目指す。そこから、最終的に参加者の各領域、各組織において投げかけたい「深い問い」を各自が〈開発—試行—評価—改善〉の開発サイクルをまわすことができる手法獲得を目指します。